

たんぽぽ 第116号



兵庫県養父市堀畑82番地の28
森 医 院
TEL 079-665-0223 FAX 079-665-0635
http://www2.ocn.ne.jp/~moriin/
e-mail mori-clinic@fureai-net.tv

全く様相が異なる。他国が武力攻撃を受けた場合、自国が直接攻撃を受けなくとも共同で武力に対抗する権利=軍事同盟である。例えるなら、空き巣から自己防衛する際には鍵をかける。しかし強盗だと鍵だけでは家族は守れない。警察力がないと仮定すると敵を撃退するには武器が必要になる。敵が集団で来るならこちらもご近所とともに家族を守るため同盟を組む。敵の武装を上回る武器を調達しなければ撃退できないだろう。軍事同盟としての集団での自衛権行使は行きつくところ軍備拡張競争が始まりさらに高性能な武器を求め、たどりつく最終兵器は核武装である。唯一の被爆国である日本がしなければならぬことは、先頭に立て核兵器廃絶を世界に発信すること。積極的平和主義を唱えるなら核兵器をなくすことにもっと積極的に、戦争を回避するためには外交を最優先し、且つ軍備は可能な限り少ないほうがいい。

「今から70年前のこと、私は8歳の少女。小学校2年の終わりの3月、東京、大阪の次は神戸がやられるとの父の見通しで16日の夜はモンペをはいたまま眠っていた。夜半に私たち姉妹はたたき起こされ、不気味なブーと鳴るサイレンの中を山へ逃れるため急がされた。その道中で空襲警報のサイレンに変わり、敵機をとらえるサテライトが照らされ高射砲のポンポンと鳴る音が聞こえた。やっとのことで倉下山にたどり着き、鐘樓の陰へうかがくまると頭からずぼりモ布をかぶった。しばらくするとあたりが騒がしく、なんとなく明るいのでモ布をのけると周りの草がチョロチョロと燃えていた。空を見上げると、まるで花火のようにパラパラと焼夷弾が落ちてくるではないか。しばらく見とれていたが、母に言われて慌てて運動靴で草の火を踏み消したが逃げるところがない。一番下の妹をおぶっている母は『散り散りになるよりもここでみんな一緒に死のう』といった。母と姉妹5人は大きな樹の下に丸く集まった。」

この文章は戦後70年を区切りに私の姉、千鶴子が起こした一部である。まだ私や弟が生まれる前の話である。例外なく国民は死と隣り合わせで、特に沖縄では『ありたけの地獄を一つにした』と回顧されるほど壮絶な戦争であったと聞く。燃えさがる自らの消火に当たった父と長男が母たち6人と無事再会できたことは幸運でさえあったと思う。

私が小学校4年生のころ「父さんはあの戦争に反対したの？」と聞いたことがある。父はむとして「あの戦争は負けてよかった、もし勝っていたら軍人がのさばり、日本はもっとひどい国になっていた。」と回顧した。あの頃はもうすでに戦争に反対できる雰囲気ではなかったという。出石町出身の斎藤隆雄が「蒲葦演説」を行い、大日本帝国憲法にも違反するとした国家総動員法。しかし陸軍に押し切られる形で1938年、近衛内閣によって制定され、その後一気に戦争体制に突入した。1941年、信仰・集会・言論・結社・宣伝の自由を奪った治安維持法が発動されると戦争に異議を唱える者はすべて抹殺された。

70年後の今国会では安保関連法案成立のため異例の会期延長である。そもそも自衛権とは、その国特有の権利である。しかし集団的自衛権とは

何年か先、孫やひ孫から「あの戦争に反対したの？」と聞かれたとき胸を張って「そうだよ」と答えたい。

— 院長 —



～あなたが対象かも？ 肺炎球菌ワクチンを受けよう～

高齢者を対象にした肺炎球菌ワクチンが平成26年10月から定期接種となりました。現在、65歳以上の方は平成30年度までの間に1回定期接種として公費助成を受けて接種することができます。今年度は下記の表の年齢の方が対象ですが過去に接種を受けた方は対象外となります。当院では1人1つワクチンを確保しており、御希望の方は予約をお願いします。

※養父市の助成対象の方は助成券の提出をお願いします。養父市以外の対象者の方もご相談下さい。

65歳	S25.4.2 ~ S26.4.1	生
70歳	S20.4.2 ~ S21.4.1	生
75歳	S15.4.2 ~ S16.4.1	生
80歳	S10.4.2 ~ S11.4.1	生
85歳	S 5.4.2 ~ S 6.4.1	生
90歳	T14.4.2 ~ T15.4.1	生
95歳	T 9.4.2 ~ T10.4.1	生
100歳	T 4.4.2 ~ T 5.4.1	生



脳卒中と糖尿病

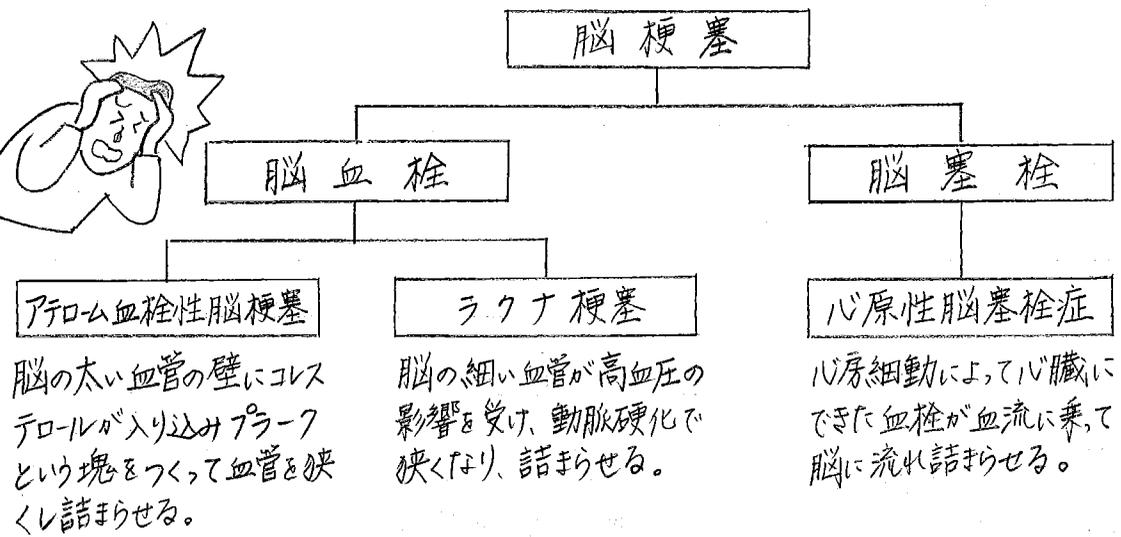
～ 予防に努め、前触れを見逃さない ～



脳卒中ってどんな病気？

脳卒中には脳の血管が詰まって起きる虚血性脳血管障害と、脳の血管が破れて出血する脳出血とくも膜下出血の3種類があり、虚血性脳血管障害の代表的なものが脳梗塞です。

脳の血管が詰まる原因には「血栓性」と「塞栓性」があり、脳の血管の中に血の塊(血栓)ができて血管をふさぐのが「脳血栓」、脳以外の場所でできた血栓が血流にのって脳に運ばれ詰まらせるのが「脳塞栓」です。



日本人に最も多く見られる脳梗塞はラクナ梗塞ですが、最近では飽食の時代にあつて脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの代謝性危険因子が増えたため、アテローム血栓性脳梗塞の比率が高くなっています。又高齢者の増加に伴い、心房細動による心原性脳塞栓症も増えています。

脳出血

長年にわたる高血圧などの影響でもろくなった脳の血管が破れ、出血してできた血腫が脳を圧迫し、周囲の細胞に大きなダメージを与える。

くも膜下出血

脳動脈瘤が破裂して脳の表面を覆っているくも膜と軟膜の間で出血し、たまった血液が脳全体を刺激するため、多くの場合激しい頭痛を起す。

糖尿病と関係あるってどういうこと？

脳卒中の最大の危険因子は高血圧で、2番目の危険因子は糖尿病です。血糖値が高い状態が長い期間続いていると血管が傷つき、血流が悪化します。糖尿病の合併症というと網膜症・腎症・神経障害が有名ですが、こからは細い動脈や毛細血管などがダメージを受けたために起こります。しかし太い動脈にもダメージを受け、血管が傷んだことで起きた合併症を「大血管障害」といい、その代表が動脈硬化です。動脈硬化が進行して動脈が詰まってしまうと、そこから先の血流が途絶え、組織は死んでしまい脳梗塞、心筋梗塞を起すしてしまいます。

糖尿病の人はそうでない人に比べて脳梗塞のリスクが2～3倍あるといわれています。



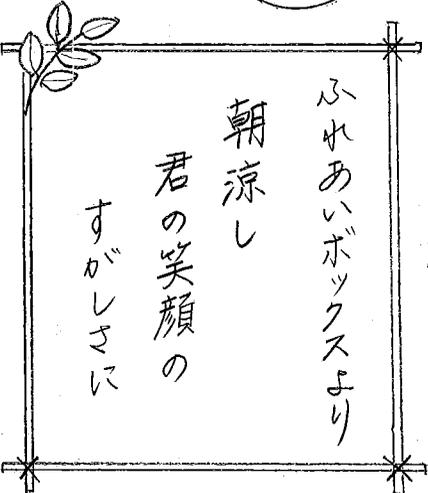
予防するにはどうしたらいいの？

抗血栓療法

アテローム血栓性脳梗塞
ラクナ梗塞] => 抗血小板療法
心原性脳塞栓症] => 抗凝固療法

危険因子の管理

高血圧
糖尿病
脂質異常症
心房細動] => 食事療法
喫煙
大量飲酒
メタボリックシンドローム
慢性腎臓病] => 運動
禁煙、節酒
薬物療法



編集後記
当院は9月1日で開院30周年を迎えます。今まで築いてきた歴史や伝統を継承しつつ、患者様に満足していただけるよう務めてまいります。今回のたんぽぽいかがでしたか？御意見、御感想などありましたらふれあいボックスへ投稿して下さい。次回発行予定は平成28年1月です。